

## 1部 講演 AKIYAMA

### 文明の質が問われる時代

講師 秋山豊寛さん

お百姓になった  
宇宙飛行士が語る  
サステイナブル  
持続可能な  
エコ・ライフ  
暮らしの恵みとは？

とき | 2013年 **4月6日(土)**  
午後1時30分～4時  
(開場1時)

会場 | **コンパルホール 多目的ホール**  
大分市府内町1丁目5-38 電話 097-538-3700

入場 | **無料** (カンパは歓迎いたします)



Toyohiro Akiyama

1942年東京生まれ。宇宙飛行士、農家、ジャーナリスト。2011年11月より京都造形芸術大学教授。国際基督教大学卒業後、東京放送(TBS)入社。ワシントン支局長などを歴任。1990年、日本人初の宇宙飛行士として旧ソ連の宇宙船「ソユーズ」に搭乗。95年にTBS退社後、福島県滝根町に移住して有機農業に従事。現在は京都市在住。

## 2部 シンポジウム

### 66年目を迎える日本国憲法

「戦争から生まれ出るのは新たな戦争でしかなく、戦争から平和が生まれることなど決してあり得ない」と言い、「世界中の国々がこの第9条を共有すべきだ」と言ったのはアレン・ネルソンだが、100年前「戦争は悪である」と言い「世界の軍備は全廃すべきだ」といった人がある。小学6年生の教科書にも登場する田中正造である。

多くの犠牲を生み出した15年戦争をへて、ようやくたどり着いた憲法9条。そして「主権は私たち自身の手ゆだねられていること」、「すべての人びとは基本的な権利が保障される」という三原則に基づき、多くの人々が人類普遍の原理を達成しようと努力してきました。しかし今、その平和憲法が最大の危機に瀕しているのだと思います。

日本人初の宇宙飛行士の秋山さんは「宇宙から地球を見たとき、人生観が変わった」と語られ「近代によって便利さと豊かさを手にする一方で失うものも多かった」と回顧し、職を辞して喪わしめたものを辿ろうとしています。秋山さんがふと口に洩らした「真の文明は、山を荒らさず、川を荒らさず、村を破らさず、人を殺さざるべし」という田中正造の言葉は3.11後の私たちの道しるべとなる言葉なのかと思います。

秋山さんの講演と、それを受けてのシンポジウム是非ご参加下さい。

#### パネラー

秋山豊寛

(第1部講師)

西畑修司

(大分県弁護士会憲法委員会委員長)

大島浩一

(メディア総合研究所会員)

宮崎優子

(赤とんぼの会 世話人代表)

日野詢城

(宗教者9条の会 大分 世話人代表)

#### 協賛

大分マスコミ9条の会

赤とんぼの会